

HCL information

冬場の血清カリウム値について

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

毎年12月頃、先生方よりカリウム（K）のデータが高いのでは？
という問い合わせがございます。冬場の外気温の低下による影響、
溶血の影響、クレンチング・ハンドグリップの影響等が要因として
考えられますので、下記の点にご注意の程、宜しくお願い致します。

敬具

記

1. 全血で、長時間検体を冷蔵保存されていませんか…？（冬場は特にこれが問題になります。）

下記資料1の様に、全血の状態では長時間冷蔵温度に置くとカリウム値は（+）誤差になります。

（検体によって違いますが、3時間で0.5前後 6時間で1.0前後増える場合があります。）

2. 報告書に溶血のコメントは明記されていませんか…？

溶血によって特に影響を受ける項目には、カリウム・AST・LD・T P・血清鉄があり

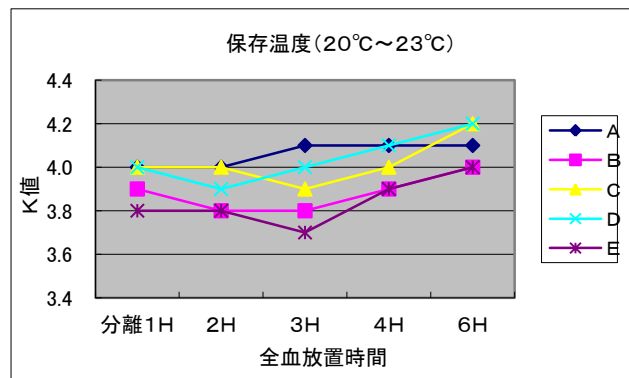
（+）誤差になります。

3. クレンチング・ハンドグリップの影響は考えられませんか…？

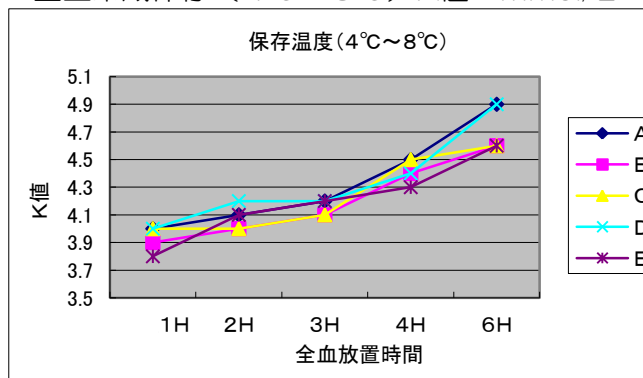
採血時のクレンチング（手を開いて再度強く握る）やハンドグリップ（拳を強く握らせる）などの方法を行って採血した為に、血清カリウムが高値になることがあります。当社の実験では、**0.2 ~ 2.4 mmol/L上昇**しました。米国では1951年に、クレンチングを行って採血した場合、筋肉細胞内からカリウムが遊出し、静脈血のカリウム濃度が異常に上昇（0.2~1.3 mmol/L）するという臨床診断に影響を及ぼす知見が報告されています。

※ご不明な点は、営業担当までご相談ください。

資料1 全血室温保存（20℃～23℃）K値 mmol/L



全血冷蔵保存（4℃～8℃）K値 mmol/L



HCL 株式会社 兵庫県臨床検査研究所